

平成 27 年 9 月 2～4 日、ブラジル連邦共和国のリオデジャネイロで開催された国際住宅金融連合（International Union for Housing Finance: IUHF）の第 29 回世界大会において、調査部の小林海外調査担当部長が講演しました。

同大会のテーマは「需要と人口動態：住宅と住宅金融市場にとっての課題と機会（Demand and Demographics: Challenges and Opportunities for Housing and Housing Finance Markets）」で、機構からは少子・高齢化が先行している日本の事例及び各国へのインプリケーションについて報告しました。

IUHF は 1914 年に設立された世界的な組織で、2015 年 9 月現在、46 ヶ国、108 の住宅金融機関・地域組織等が加盟しています。今回の会議には南北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア諸国から 188 名が参加しました。

